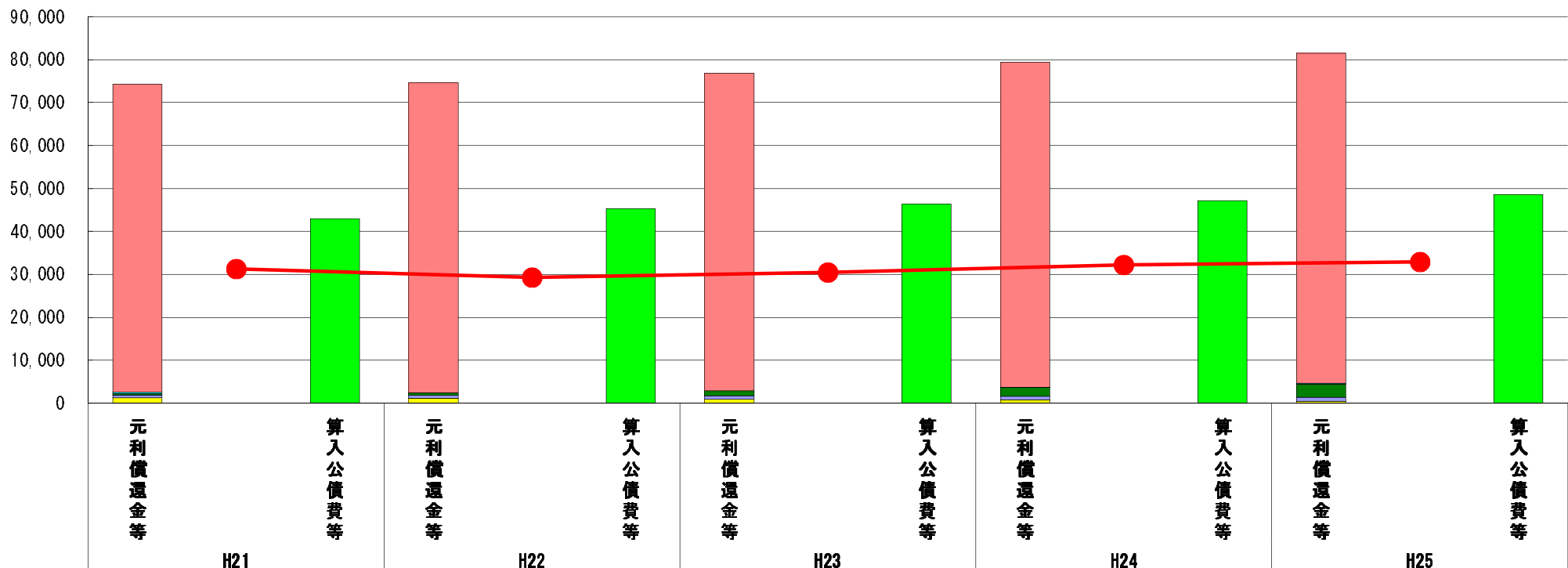


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成25年度

奈良県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等(A)	元利償還金		71,710	72,173	73,950	75,651	76,843
	減債基金積立不足算定額		333	-	-	8	225
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		382	549	1,165	2,077	3,061
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		587	759	754	827	824
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,282	1,099	952	778	514
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		42,969	45,236	46,346	47,133	48,529
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		31,325	29,344	30,475	32,208	32,938

分析欄

臨時財政対策債の償還の増加に伴い、元利償還金が増加していることにより、実質公債費比率（分子）は増加傾向にある。本県では、投資的経費に充当する通常債について発行抑制に努めており、また発行する場合は交付税措置のある財源的に有利な地方債の活用に努めている。今後も引き続き公債費負担軽減を図るため、このような取組を継続する。